

CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)高瀬金型 第四工場	階数	地下0階地上2階
建設地	愛知県稲沢市西島二丁目129番・134番・135番	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	105 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2025年7月 予定	評価の実施日	2024年3月21日
敷地面積	2,651 m ²	作成者	株式会社 加藤設計 水野
建築面積	1,405 m ²	確認日	2024年5月30日
延床面積	2,683 m ²	確認者	株式会社 加藤設計 水野



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

★☆☆☆☆

標準計算

- ①参照値: 100%
- ②建築物の取組み: 12%
- ③上記+②以外の: 12%
- ④上記+: 12%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR3 敷地外環境: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR1 エネルギー: 3
Q1 室内環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 重点項目

①地球温暖化への配慮

5.0

③敷地内の緑化

1.0

外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) **11.9 %**

建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) **0.0 %**

②資源の有効活用

2.9

④地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料> なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 (株高瀬金型 第四工場)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄			建物全体・共用部分			住居・宿泊部分			全体
配慮項目	独自基準 重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点			全体		
								建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	重み係数			
Q 建築物の環境品質												2.3	
Q1 室内環境												2.6	
1 音環境												3.0	
1.1 室内騒音レベル		0.1	3.0	0.15	-	-	-	-	-	-	-	3.0	
1.2 遮音		0.4	3.0	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		-	3.0	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能		-	3.0	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1.3 吸音		-	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 温熱環境												2.0	
2.1 室温制御		0.3	2.0	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 室温		0.5	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 外皮性能		3.0	3.0	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 ソーン別制御性		3.0	3.0	0.25	-	3.0	-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	3.0	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.3 空調方式		3.0	1.0	0.20	-	3.0	-	-	-	-	-	-	
3.0 1.0		3.0	1.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 光・視環境												2.8	
3.1 屋光利用		0.2	2.8	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 屋光率		0.3	4.2	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 方位別開口		3.0	5.0	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 屋光利用設備		3.0	3.0	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.2 グレア対策		0.3	3.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 屋光制御		5.0	3.0	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	3.0	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	1.0	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 空気質環境												3.1	
4.1 発生源対策		0.2	3.1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質		0.5	4.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	4.0	1.00	-	3.0	-	-	-	-	-	-	
1 換気量		0.3	2.3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 自然換気性能		3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理		3.0	1.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		0.2	2.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
Q2 サービス性能												3.0	
1 機能性												2.8	
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	2.8	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		0.4	3.0	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画	独自	3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		0.3	2.3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 広さ感・景観 (天井高)		3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
1.3 維持管理		0.3	3.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		-	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性												2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.3	2.9	0.31	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	3.0	0.48	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	2.9	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		-	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②	-	2.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	3.0	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	3.0	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	4.0	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.4 信頼性		0.1	2.8	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	2.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 電気設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 通信・情報設備	②	3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	

3 対応性・更新性			0.2	3.3	0.29	-	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			0.3	4.2	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり			階高5.7m						
1 1 階高のゆとり			3.0	5.0	0.60	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	3.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.40	-	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出			独自③	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	2.0	0.40	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			断熱 外壁:GW24K100mm、屋根GW10K100mm、Low-Eペアガラス採用						
2 自然エネルギー利用			3.0	5.0	0.20	-	-	-	5.0
3 設備システムの高効率化			3.0	3.0	0.10	-	-	-	3.0
4 効率的運用			3.0	5.0	0.50	-	-	-	5.0
4.1 モニタリング			0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
4.2 運用管理体制			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	3.0
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水			節水型トイレの採用						
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1 1 雨水利用システム導入の有無			0.6	3.0	0.60	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2 2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	2.9	0.63	-	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			-						
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	2.0	0.07	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	3.0	0.24	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	3.0	0.20	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	3.0	0.20	-	-	-	
2.6 持続可能な森林から産出された木材			3.0	3.0	0.05	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	3.0	0.24	-	-	-	
カーテン:制菌メディG215									
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.0	0.68	-	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
3 冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			①	5.0	0.33	-	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			0.3	2.4	0.33	-	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			ライフサイクルCO2排出率12%						
2.2 温熱環境悪化の改善			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			-	2.0	0.50	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自	0.2	2.7	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			独自	3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制			独自	3.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			独自	4.0	0.25	-	-	-	
敷地内駐輪場の設置									
1.0 2.5									
3 周辺環境への配慮			0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音			独自	3.0	1.00	-	-	-	
2 振動			独自	-	-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制			-	1.0	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70	-	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策			5.0
LR3-1	地球温暖化への配慮	5.0	0.10
② 資源の有効活用			2.9
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.09
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.19
③ 敷地内の緑化			1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.12
			外構緑化:11.9%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			1.0
			(評価ポイント)
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-
			なし
			なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (株)高瀬金型 第四工場

計画上の配慮事項	
総合	外壁・屋根・開口部の断熱性の強化、高効率設備の導入、太陽光発電パネルの設置により、BEI=-0.86を達成した『ZEB』工場としている。
Q1 室内環境	ホルムアルデヒド発散材料はF☆☆☆☆区分の製品を全面的に使用する。
Q2 サービス性能	階高を1F6.0m、2F5.7mとし、更新性に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	外構緑化により良好な景観の形成に努めた
LR1 エネルギー	断熱性の向上により、空調負荷を低減に努めた
LR2 資源・マテリアル	節水型便器の採用により、水資源の節約に配慮した。
LR3 敷地外環境	敷地内駐輪場、駐車場の十分な設置により周辺交通負荷の低減に配慮した
その他	工場の生産エリアには地中熱を利用した補助空調を採用しており、省エネ及びCO2排出の低減に配慮した計画としている。